

青森県立高等学校教育改革推進計画 第1期実施計画

重点校、拠点校の令和2年度の取組を紹介します！

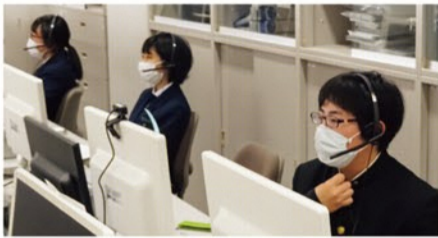
県教育委員会では、生徒数が減少する中であっても、県全体における高校教育の質の確保・向上を図るため、青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画に基づき、普通科の重点校6校、農業科・工業科・商業科の拠点校6校を各学科の教育活動の中核的な役割を担う高校として配置しています。

今回は重点校、拠点校の各校が他校と連携する具体的な取組の一部として、弘前高校と八戸工業高校の取組を紹介します。

重点校 弘前高校の取組：東京大学の学生によるオンラインセミナー

日程 令和2年12月5日 場所 弘前高校

参加 弘前高校、弘前中央高校、弘前南高校の3校から21名



首都圏に比べ、情報不足等の制約を抱える地方の受験生と現役の東京大学の学生とがオンライン会議システムを活用し、交流することを通して効果的な学習方法や受験における心構えなどについて理解を深めることを目的とするものです。

生徒の感想

地方には都心の大学を志望する人や卒業生が少なく、情報を集めにくいいため、自分から大学のHP等で情報を集めるようにしたいと思った。



現役の大学生から体験談等を聞き、地方からでも東京大学に合格するためにできることが沢山あることが分かったので、今後に活かしていきたいと思った。

八戸工業高校の取組：地域から学び還元する工業教育

拠点校

日程 令和2年8月4日、11月5日 場所 八戸工業高校

参加 八戸工業高校、十和田工業高校の2校から95名



十和田工業高校と連携し地域産業を深く考える高校生を育成するため、大学等から講師を招き、SDGsを意識した未利用熱エネルギーに関する講義や、旋盤及び電子回路組立に関する技能講習を実施するものです。

生徒の感想

専門家から研究に関するアドバイスをいただき充実した時間になった。また、十和田工業高校との交流は刺激になった。



身の回りの生活には様々な工業技術が活かされていることを再確認することができた。これからは視野を広げて工業について学んでいきたいと思った。

問 高等学校教育改革推進室 TEL.017-734-9866

おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。県教育庁教育政策情報広報グループ広報担当(TEL.017-734-9868)までご連絡ください。

盛運輸アリーナ（青森県営スケート場）にスポーツライミング施設【リード・ボルダリング】がオープンしました!!

○営業時間/3月21日(日)まで。毎週月曜日休場。

【土・日・祝日】10:00~20:00

【平日】13:00~20:00

※4月以降の営業時間は、青森県営スケート場ホームページをご確認ください。

○利用方法/

・ボルダリングは利用登録が必要。

即日登録、即日利用可能。

・リードは、認定講習会で合格した方のみ利用可能。

講習会の日程(予定)は、青森県営スケート場ホームページをご確認ください。

・室内シューズ等は各自で準備。

○料金 金/個人使用料(一回につき)

一般	高校生	中学生	小学生・幼児
520円	300円	220円	110円



問 スポーツ健康課 TEL.017-734-9906
青森県営スケート場 TEL.017-739-9500
<http://aomori-skate.com/>

青森県立図書館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子どもたちからリクエストされた絵本を紹介します。

○日時/令和3年3月13日(土) 14:00~14:30

○場所/青森県立図書館4階集会室

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

青森県近代文学館からのお知らせ

エクステンド常設展示「三浦哲郎 ~師・井伏鱒二の思い出~」

八戸市に生まれた三浦哲郎は、大学生の時に井伏鱒二に出会います。三浦は井伏を尊敬し、その教えを受けて作品を書きました。「忍ぶ川」で青森県初の芥川賞に輝いた三浦哲郎は、井伏鱒二とのエピソードをどのように語ったのでしょうか？入場無料です。来館をお待ちしております。

○開催期間/開催中~令和3年5月下旬

(毎月第4木曜日、奇数月第2水曜日、4月1日は休館)

○時間/9:00~17:00

○場所/青森県近代文学館企画展示室(青森県立図書館2階)

問 青森県近代文学館 TEL.017-739-2575

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/viewer/info.html?id=30>

三内丸山遺跡センターからのお知らせ

◆企画展「イミテーション・ワールド」

三内丸山遺跡から出土した、土器などをまねて極端に小さく作ったミニチュア土器、素材を変えて作った同じ形の装飾品などの展示をとおして、縄文人の精神世界を紹介します。

○開催期間/開催中~令和3年5月30日(日)

○時間/9:00~17:00(GWは~18:00)

○場所/三内丸山遺跡センター企画展示室

◆大型掘立柱建物(6本柱)改修工事のお知らせ

三内丸山遺跡では、老朽化した大型掘立柱建物の長寿命化対策工事を実施しています。工事の期間中、大型掘立柱建物(6本柱)は仮設足場に囲われ、見学できません。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

〈見学できない期間〉 令和3年6月下旬まで

※上記期間のほか、資材搬入時など、見学が制限される場合があります。

なお、令和3年春に仮設足場の上で工事の様子を見学していただくイベントを企画中です。申込方法などの詳細については、ホームページでお知らせします。

問 三内丸山遺跡センター TEL.017-781-6078

<https://sannaimaruyama.pref.aomori.lg.jp/>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止・延期又は事業内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。